

# あらかわ 区議会だより

No.219

平成 25 年 4 月 21 日発行

編集・発行 / 荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>  
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話 03-3802-3111(代表)

平成 25 年第 1 回定例会号

## 区議会第1回定例会

平成25年度一般会計予算ほか

3特別会計予算を可決

区議会第1回定例会は、2月14日から3月14日までの29日間の会期で開かれました。

区長の平成25年施政方針説明の後、本会議の1日目と2日目には、9人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3・4面に掲載しています)。

本定例会では、議案46件が提出されました。このうち平成25年度予算4件は、予算に関する



都電荒川線(荒川二丁目)



荒川公園

特別委員会を設置して審査を行いました(予算に関する特別委員会の審査経過等は4・5面に、議案の審議結果は8面に掲載しています)。



### 平成25年度 予算の概要

年度区分 会計区分	平成25年度 予算額	平成24年度 予算額	増減	増減率 (%)	
一般会計	864億3000万円	874億7000万円	△10億4000万円	△1.2	
特別 会計	国民健康保険 事業	255億3100万円	250億7100万円	4億6000万円	1.8
	後期高齢者 医療	43億300万円	41億7300万円	1億3000万円	3.1
	介護保険 事業	160億5100万円	150億6900万円	9億8200万円	6.5
計	1323億1500万円	1317億8300万円	5億3200万円	0.4	

### 第1回定例会日程

2月14日 本会議  
2月19日 本会議  
2月20日 総務企画委員会  
福祉・区民生活委員会  
2月21日 文教・子育て支援委員会  
建設環境委員会  
2月22日 議会運営委員会  
2月25・27・28日 3月1・4・5・7・8日 予算に関する特別委員会  
2月27日 本会議

3月5日 福祉・区民生活委員会  
3月13日 議会運営委員会  
3月14日 本会議

### 掲載記事のご案内



あらみい あら坊

#### 3面・2面

区政のこころをきく  
一般質問要旨  
守屋 誠議員(自民党)  
菊地 秀信議員(公明党)  
安部キヨ子議員(共産党)  
清水 啓史議員(民主・市民)  
小坂 英二議員(日本創新党)  
浅川 喜文議員(正論の会)  
藤澤 志光議員(改革の会)

#### 5面・4面

区政のこころをきく  
一般質問要旨(続き)  
菅谷 元昭議員(自民党)  
斉藤 邦子議員(共産党)  
予算審査の概要  
・主な総括質疑  
・主な締めくくり総括質疑  
・予算の審査経過  
区長の施政方針説明  
予算に対する各会派の討論

#### 7面・6面

予算に対する各会派の討論  
(続き)  
委員会活動  
・議会運営委員会  
・常任委員会  
・特別委員会

#### 8面

決議  
意見書提出  
竹内捷美議員逝去  
議案の審議結果

# 区政のこころをこく

## 一般質問要旨

### 区長3期目のスタートにあたっての施策及び子育て環境の整備と保育士、教員の外国語コミュニケーション能力の向上を問う



守屋 誠 (自民党)

区長3期目のスタートにあたっての施策を問う

第一に安全安心のまちづくりへの取り組みとして、木造密集地域の解消と主要生活道路の拡幅整備に伴う沿道住宅の不燃化・耐震化に合わせた共同建て替えを進め、良質な住宅の供給を増やすことが必要である。また、京成電鉄に対し、高架下に備蓄倉庫、自転車駐車場や永久水利設備の整備への協力を要望してはどうか。第二に地域の活性化に向けた取り組みとして、中小企業金融円滑化法廃止を踏まえた区の融資制度の拡大や区内共通お買い物券の需要を増やすとともに、商店街のにぎわいを創出する取り組みが必要と考えるがどうか。さらに、若者の就労支援について、これまでの成果と今後どのように拡充していくのかを問う。

安全安心のまちづくりについて、都の「不燃化10年プロジェクト」の不燃化特区制度の先行実施地区に「荒川二・四・七丁目地区」が選定されたが、本格実施に向けて、区では地域危険度の高い地区への拡大に向け検討している。京成線高架下は、災害時の対応を含めた有効活用が図れるよう、引き続き京成電鉄に強く要請する。また、地域産業の活性化については、中小企業金融円滑化法終了への対応、区内共通お買い物券の魅力向上に引き続き努力する。若者の就労支援は、昨年4月に就労支援課を設置した。今後は、わかもの就労サポートデスクのスペースや相談日の拡充、ジョブコーナー町屋との連携、中小企業の魅力や現場に努めるべきと考えるがどうか。

の雰囲気を感じてもらおうバスツアー等支援策を一層拡充する。子育て環境の整備と保育士、教員の外国語コミュニケーション能力の向上を問う

区長が掲げる待機児童ゼロ実現に向けて、さらなる保育施設の整備が必要だ。区内では保育園用地の確保が困難であり、小規模スペースの活用や、保育ママによるグループ保育等の実施が有効と考える。さらに、大規模集合住宅を建設する業者に保育所等の付置義務を課す条例を制定してはどうか。また、区内居住の外国人は年々増えており、外国語を話せる保育士、教員の配置や育成を行い、外国語でのコミュニケーション能力向上に努めるべきと考えるがどうか。

保育ママについては、居宅外で保育する取り組みや、保育所と連携した保育事業、グループ保育も積極的に検討する。100戸以上の大規模集合住宅の場合は、事前協議を行っており、子育て支援施設設置の義務付けは今後検討する。また、外国語能力の向上については、保育士は研修開催や通信教育の受講補助などとともに、外国語を話せる保育補助員の採用を検討する。小中学校教員は、英語実技研修や夏季集中研修等を実施しており、幼稚園教員の研修も視野に入れ、能力の向上を図る。

その他の質問項目  
○新年度予算編成の基本的考え方について

### 教育改革の推進と快適な尾久地域の暮らしを問う



菊地 秀信 (公明党)

教育改革の推進を問う

いじめを防止するためには、人権の尊重や生命の尊厳といった他者を思いやる気持ちを子どもに植え付ける取り組みが必要である。心の教育を強く推し進める姿勢を示すためにも、学校現場において自分の誕生の過程を学習し、赤ちゃんと触れ合う誕生学など、思い切った取り組みを展開すべき。いじめの根絶には「心の教

育」が重要である。各学校では道徳教育の充実に取り組みしており、福祉施設への訪問やボランティア活動などの体験をもとに、心を耕し、心を育てる教育活動を展開している。今後、道徳教育の充実に加え、誕生学のような取り組みも参考に「心の教育」を推進していく。

施しているが、国の補正予算を活用するなど、あらゆる手立てを講じ児童・生徒の安全を確保すべきと考えるが見解を問う。  
区では、「学校の通学路の安全確保に係る連絡調整会議」にて協議を重ね、新たな視点から緊急合点検を実施し、改善すべき箇所を選定した。交通安全施設整備などの緊急対策を実施し、年度末には対応可能なものは完了する。今後も、通学路の交通安全対策のさらなる充実に向け取り組んでいく。

快適な尾久地域の暮らしを問う  
区は、社会福祉士等の資格を持つ相談員が地域の高齢者に関する相談を受け付ける身近な相談窓口として、高齢者みまもりステーションを区内5地域に設置している。尾久地域は他地域と比べ高

### 介護保険と福祉サービスの充実と防災対策の強化を問う



安部 キヨ子 (共産党)

介護保険と福祉サービスの充実を問う

ケアプランの検討が介護認定率の引き下げ目的にならなければならぬ。介護保険と高齢者福祉の独自サービスの検討や区民の実態をつかむ土台作りを進めること。

地域ケア会議での個別ケースの課題分析等により、地域課題を的確に把握し、事業化を進めること。地域包括システム実現を図る。

要支援者のケアプランは、区自身が目標設定・プラン作成とその経過を観察し、責任を持って進めることが必要と考えるがどうか。  
民間のケアマネージャーが適切な評価によりケアプランの作成

更するなど、さらなるサービス向上に努めるべきと考えるがどうか。  
尾久図書館については、これまで耐震工事を含めた大規模改修を実施し、安全で快適に利用できるよう努めてきた。複合施設の利用状況も勘案しながら、将来的には、地域館の配置や役割などについて総合的に検討していく必要がある。今後も適切な施設の修繕と図書館サービスを充実させ、利用者満足いただけるよう努力する。

その他の質問項目  
○尾久図書館の雨漏り対策と今後のあり方について  
○都電荒川遊園地前駅ホーム延長と安全対策等周辺整備について

ができるよう会議の活用や研修を行い、利用者の生活の向上と自立支援に資する取り組みを強化する。

要介護から自立になった場合にも、その人に合った支援メニューを具体化し、切れ目のないサービスを総合的に準備すること。

昨年11月に介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、適切で効果的なサービスを適切に提供できるようになった。今後、本事業を拡大・充実していく。

木造密集地域の住宅耐震化・不燃化を推進するため、専門家の知見も借り、独自の体制をつくり推進することが必要ではないか。

専門相談員を配置し、住まいに関する問題解決に対応できる建築相談ステーションの設置を検討するなど相談体制の充実を努める。  
生活圏、学区など様々なコミュニティ単位での防災マップづくりを、子どもたちも含め、住民参加できめ細かく進めること。

全小中学校で地域安全マップが作成され、PTAによる町なか親子点検活動が実施されている。こういった取り組みが各地域で実施されるよう働きかけていく。

中高層住宅の防災マニュアル作成とともに、エレベーター耐震改修、自家発電設備の設置、防災備蓄などへの支援を具体化すべき。

中高層住宅の防災マニュアルの作成など防災意識の啓発を図る。エレベーター停止や自家発電設備、防災備蓄についても、助言指導等により、取り組みを支援する。



**基金残高の推移、ボール遊びの  
できる場の確保を問う**



清水啓史  
(民主・市民)

基金残高の推移を問う

**問** 基金残高が近年減少傾向にある中、将来のことを見据えて長期的に区財政を見ていくことは重要である。また、特定目的基金である健康・福祉基金の新年度の残高は約100万円と実質的に取り崩す形となる。特定目的基金については、今後、時代による変化や、より有効活用しやすいようにしていくなど、状況により整理することが必要と考えるがどうか。

**答** 近年の基金残高の推移は、公共施設の用地取得や整備の財源として、起債とあわせて活用し、積極的に活用しやすいうようにしていくなど、状況により整理することが必要と考えるがどうか。

区内でキャッチボール等のボール遊びができる場所は限られていて、体力テストの結果を見ると

**問** 区内でキャッチボール等のボール遊びができる場所は限られていて、体力テストの結果を見ると

東京都の子どもはボール投げについて、都道府県比較では顕著に低く、過去の比較も低下傾向にある。公園を時間帯で決めて区切る、ネットを設置するなど、ボール遊びのできる場の確保することに対する認識と今後の対応策を問う。

**答** 子どもの体力向上は重要と捉えており、ボール遊びも体力向上につながるものと考え、ボール遊びができる場所は十分ではないと認識している。ボール遊びのできる遊び場を可能な限り確保していくため、今後、近隣住民の理解を得ることやルールを守って利用すること等について取り組んでいく。

その他の質問項目

- 受益者負担の考え方について
- 設置された各種本部について
- 他区隣接地域での、区によって異なる条例等の扱いについて

**同調圧力や風潮に流されない、真に必要な安心・安全な社会と日本の縦系を守る取り組みについて**



小坂 英二  
(日本創新党)

**問** 同調圧力や風潮に流されない、真に必要な安心・安全な社会へ

**答** 同調圧力や風潮に流されない、真に必要な安心・安全な社会へ

パチンコ禁止を打ち出すべき。

**問** 新規出店は法令の順守を指導し、課税は慎重に検討する。生活保護費のギャンプルへの支出制限については、国に照会しており、その回答に従い指導する。

不法滞在外国人への過剰な行政サービスの現状を明らかにすること。その上で、国に廃止を求め、区としても廃絶すべき。

**答** 在留資格のない外国人に対する行政サービスについては、国の考えに基づき対応している。

**「木密地域不燃化10年プロジェクト」の新たな  
特区申請と(仮称)母子避難所の設置を問う**



浅川喜文  
(正論の会)

荒川区の「不燃化特区10年プロジェクト」の成功に向けて！

**問** 「不燃化特区」は50年に一度の街づくりのチャンス。区は先行実施地区に加え、新たに複数地域の特区指定に全力で取り組み。特区指定地域は、町屋駅を中心とした、町屋駅を中心とした、地域特性を生かし、地域価値創造を目指した「不燃化特区」指針を策

**答** 「不燃化特区」は50年に一度の街づくりのチャンス。区は先行実施地区に加え、新たに複数地域の特区指定に全力で取り組み。特区指定地域は、町屋駅を中心とした、町屋駅を中心とした、地域特性を生かし、地域価値創造を目指した「不燃化特区」指針を策

定し、関係住民の合意形成を充分に図り、スピード感を持って事業推進に当たるべきである。

**問** 不燃化特区制度の指定条件に基づき、不燃化特区導入の可能性について、密集事業を実施する各

**震災対策と医療対策を問う**



藤澤志光  
(改革の会)

震災対策を問う

**問** 東日本大震災の事例を見ると、住民に安心感を与えた行政の対策と過去の経験知識がかえって避難の妨げになった。単に安心感を与えるだけでなく、具体的にどのような施策で区民の犠牲者を一人も出さないようするの

**答** 区民にただ安心感を与えるのではなく、東日本大震災を踏まえ、新たな配慮をしつつ、適切な公文書の作成に努める。

その他の質問項目

- 防災・震災対策

を持つ「独立行政法人都市再生機構」とも連携し、安全で魅力的な街となるよう事業展開を進める。乳児や妊産婦のため、母子避難所を設置し、体制整備を実施せよ！

**問** 荒川区では年間約1600人の赤ちゃんが生まれている。大災害時に相当数の妊産婦と乳児が避難を余儀なくされる。安産が必要

**答** 区は、各要援護者の避難所としてふれあい館、ひろば館を指定した。避難所の運営では、避難した方々に負担のかけないよう配慮する。また、来年度は自動ラック式トイレ、着替え用テントなどが平時から用意して消火のため

各一般質問の詳細については現在作成中の会議録が

できしだい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区議会ホームページで平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



あらみい あら坊

### 交通システムと介護予防を問う



菅谷 元昭  
(自民党)

交通システムを問う

問 日暮里駅は成田空港への玄関口になったが、羽田空港へ行くのは少し不便である。区内からの羽田空港行きバスや、北千住駅から羽田空港行きバスが、途中の荒川区に停車すれば利用者も多いと考えられる。民間事業者に努力してもらい、より良い荒川区の交通網にしてほしいと考えるがどうか。

答 区内から羽田空港への直通バスの導入や既に運行しているバスの区内停車については、採算性や区内停留所の設置など課題がある。今後、事業者を始め関係機関と協議し、検討を進めていく。

介護予防を問う

問 今後の介護予防について、施設面だけでなく、在宅介護や介護

予防が重要だと考える。区が行ってきた介護予防事業の取り組み内容とその現状について、介護予防の先進都市と言われる和光市と比べて、どの程度進んでいるのか。

答 高齢化の進展に伴い、今年度から新たに国のモデル事業である「介護予防強化推進事業」の他、「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始した。事業の実施に当たっては和光市等先進都市の取り組みを参考に地域ケア会議を開催し、各高齢者の状態像に合わせた、自立に向けた支援を進めていく。

問 今後、地域包括支援センターの役割が非常に重要になると考えている。介護予防や地域づくりの拠点として、今まで以上に地域包括支援センターの機能を強化していくことが必要と考えるがどうか。

答 地域包括支援センターは地域包括ケアを支える中核拠点として地域での多職種との連携や、地域づくりによる介護予防の推進など重要な役割を果たすことが求められる。問 事業を支援するため、補助金を交付しており、新年度は増額する。難聴者の支援のために

問 介護予防の観点から、中軽度の難聴の方にも補聴器購入補助を創設し、増聴器や骨伝導補聴器の補助も検討すること。

答 高齢の難聴者が日常生活の向上を図るため補聴器等を活用することは重要である。購入助成は、他区の状態等を参考に検討する。問 補聴器使用者のため、磁気ループの施設への設置と、携帯用を高齢者、障害者の窓口や会議等の場所での利用できるようにすべき。

問 障害のある方の生活上の支障を、可能な限り解消するよう努めることは重要な視点であり、具体的な工夫や方策を検討していく。

問 聴覚に障害のある方に対応した火災警報器について、障害者手

れている。今年度より、地域ケア会議や在宅療養連携推進会議を開始し、その機能の強化に努める。問 高齢者に活躍の場を与えることが、介護予防につながるかと考える。介護予防事業の参加者に子どもの面倒を見てもらうなど生きがい、やりがいを感じてもらおう工夫が必要と考えるが、今後の取り組みについて問う。

答 高齢者自ら社会活動に参加することで介護予防を促進するため、いきいきボランティアポイント制度事業を実施している。今後、この事業に子どもを対象とした活動など制度拡充を検討する。

問 平成25年度予算案について

○防災まちづくりについて  
○公共サインについて  
○いじめ・体罰問題について

問 平成25年度予算案について  
○防災まちづくりについて  
○公共サインについて  
○いじめ・体罰問題について

問 平成25年度予算案について  
○防災まちづくりについて  
○公共サインについて  
○いじめ・体罰問題について

問 平成25年度予算案について  
○防災まちづくりについて  
○公共サインについて  
○いじめ・体罰問題について

問 平成25年度予算案について  
○防災まちづくりについて  
○公共サインについて  
○いじめ・体罰問題について

問 平成25年度予算案について  
○防災まちづくりについて  
○公共サインについて  
○いじめ・体罰問題について

問 平成25年度予算案について  
○防災まちづくりについて  
○公共サインについて  
○いじめ・体罰問題について

### 子どもを安心して産み育てられる環境づくりと難聴者の支援を問う



齊藤 邦子  
(共産党)

子どもを安心して産み育てられる環境づくりを問う

問 産後ケアの前提として、産後の体の変化とケアの大切さの講座を両親学級などに取り入れ、本人、パートナー、家族として行政の認識を広げることに取り組むべき。

答 産後の体のケアは、母親学級にて産後間もない産婦との交流会を行うっており好評である。今後、どの場面でのケアの重要性を伝えることが効果的か検討していく。

問 産後のボディケア体験教室などを助産院等関係者の協力を得ながら取り組んでみたらどうか。

答 産前産後のケアは子育て支援の観点から重要な分野であると認識しており、関係機関と連携を取り支援のあり方を研究していく。

問 子育て支援家庭訪問事業の補助金を引き上げ、利用者の要望に応えられるようにすること。

答 区は、「35サポネット・イン・荒川」の産後ボランティア支援訪

### 主な総括質疑

## 平成 25 年度 予算を可決

平成 25 年度一般会計予算ほか 3 特別会計予算は、「予算に関する特別委員会」(議長を除く全議員で構成・委員長 = 鳥飼秀夫、副委員長 = 保坂正仁)を設置し、2月25日から3月8日まで審査を行い、いずれも可決されました。



### 正論の会

浅川 喜文 委員  
女性の卵子老化を小5から教え、AMH検査を推進せよ!

### 改革の会

藤澤 志光 委員  
永久水理事業を区単独で実施することに

### 総括質疑

総括質疑についてはDVDを広報課及び各区立図書館で貸し出ししますのでご利用ください。

### 主な締めくくり

北城 貞治 委員  
複数の財政指標による財政の健全性の確認について

### 総括質疑

行政評価制度を活用した事業の見直しについて  
高齢者福祉課と介護保険課の統合について

### 自民党

服部 敏夫 委員  
新年度予算の特長と震災対策関連予算の概要について  
災害に備えた区施設における非常用電源の確保について  
隅田川の河川水を活用した永久水利の整備について  
タブレットパソコン導入による効果と今後の検証について

### 自民党

明戸 真弓美委員  
荒川区の魅力を高める情報発信戦略の意義と方針について  
らく楽商店街事業、街なか商店塾、一店逸品運動について  
荒川コミュニティカレッジ受講生が活動する場の整備について

### 公明党

松田 智子 委員  
子宮頸がんはHPV検査、乳がんはエコー検査の導入について  
胃がん検診にヘリコバクター

### 自民党

元氣クラブ 齊藤 裕子 委員  
日暮里区民事務所周辺開発と東尾久ふれあい館の早期実行を

### 日本創新党

小坂 英二 委員  
23区に先駆けた外国人学校保護者補助金の廃止について

### 自民党

横山 幸次 委員  
ピロリ菌検査の追加について  
幼児教育無償化に対する区の見解について

### 共産党

竹内 明浩 委員  
PPSの小中学校での導入状況と区施設への入札状況について  
永久水利整備事業の尾久地区での先行導入について

### 民主・市民

元氣クラブ 齊藤 裕子 委員  
日暮里区民事務所周辺開発と東尾久ふれあい館の早期実行を

### 日本創新党

小坂 英二 委員  
23区に先駆けた外国人学校保護者補助金の廃止について

- ・障がい者への途切れない相談支援体制、就労支援等について
- ・放課後子どもプラン全実施と児童クラブとの一体化について
- ・認可保育園の整備と区立保育園の民営化について
- ・避難所運営体制におけるマニュアル作成について

公明党

萩野 勝 委員

- ・社会インフラの老朽化に対する認識について
- ・区施設の中長期改修計画案の理念と概要について
- ・学校施設の実態を把握する総点検とメンテナンスについて

共産党

斉藤 邦子 委員

- ・木密地域不燃化10年プロジェクトに伴う生活補償策について
- ・隅田川の水を活用した永久水利整備の詳細について
- ・電子黒板導入の効果とタブレットパソコン導入について

民主・市民

瀬野 喜代 委員

- ・事業者が環境問題に取り組むエコ協定の推進について
- ・学校給食の食物アレルギー事故防止のための対策について

元気クラブ

斉藤 裕子 委員

- ・除染事業で法令違反した「尾瀬林業」の指定管理を解除すべき

日本創新党

小坂 英二 委員

- ・中学生の防災訓練充実と被災地への修学旅行について

正論の会

浅川 喜文 委員

- ・汐入に図書館を早急に設置せよ。水辺を生かし賑わいの創出を。

改革の会

藤澤 志光 委員

- ・D級ポンプを活用するための水利の確保策について

### 予算の審査経過

- 2月25日
  - 一般会計予算
  - 予算大綱説明（副区長）
  - 総括質疑（8会派）
  - ※主な質問項目は別掲
- 2月27日
  - 歳出審査（議会費・総務費）
- 2月28日
  - 歳出審査（総務費）
- 3月1日
  - 歳出審査（総務費）
- 3月4日
  - 歳出審査（総務費・民生費）
- 3月5日
  - 歳出審査（民生費・衛生費・環境清掃費）
  - 歳出審査（環境清掃費・産業経費・土木費）
- 3月7日
  - 歳出審査（土木費・教育費）
  - 3月8日
    - 歳出審査（教育費・公債費・諸支出金・予備費）
    - 歳入審査（一括審査）
    - 締めくくり総括質疑（8会派）
    - ※主な質問項目は別掲
- 採決
  - 修正案（共産党提出）
  - 採決の結果 否決
  - 原案
  - 採決の結果 可決
- 国民健康保険事業特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算
  - 審査
  - 採決の結果 可決
- 介護保険事業特別会計予算
  - 審査
  - 採決の結果 可決

### 平成25年 区長の施政方針説明

（一部抜粋・要旨）

平成25年

西川区長から、2月14日の定例会初日の本会議において、施政方針説明が行われました。

平成25年第1回定例会の開会に当たり、私の区政運営に関する所信の一端を申し上げます。

先人のため努力により石垣のように積み上げられてきた私たちの社会は、小さな懈怠や規範意識の低下が続けばやがて石垣も崩れ落ちてしまうのではないかと危惧しています。私は、現在の日本社会の崩壊を食い止めるには、「地域力」であると確信しています。

地域の人々の結び付きが、多くの課題に解決をもたらす原動力となり、身近な人が互いに思いやり、支え合う地域社会を維持・形成するために地道に取り組むことが、基礎自治体の責務と考えます。

本予算案は、「街や暮らしの安心に向けて備えを着実にし、幸福を実感できる予算」として編成しました。「災害で一人の犠牲者も出さない」との強い決意のもと幸福実感都市を目指した平成25年度の主な施策を分野ごとに説明します。「防災・街づくり」では、都市計画道路の推進、木密地域不燃化10年プロジェクトの重点的・集中的な取り組みに加え、地震による断水時の水利確保のため、隅田川の河川水等を活用した永久水利の整備を行います。また、一次避難所の開設・運営等の訓練を実施し、福祉施設を活用した福祉避難所の指定や備蓄資機材の充実を図ります。安全防犯対策では、防犯カメラを整備・拡充するための町会や商店街に対する補助等を継続します。「健康と福祉」では、



### 平成25年度予算をこう評価する

3月14日の本会議において、平成25年度一般会計予算について、各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

#### 賛成

健全な財政への強い決意のもと、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した予算を評価

##### 自民党

平成25年度一般会計予算について、賛成の立場で討論する。自民党荒川区議会議員団は、区民生活の向上、安全・安心に暮らせる荒川区を目指し、また、新しい時代にあふさわしい自治体実現に向けて、4つの重点項目を始めとして、200を超える事項について積極的に推進していくよう要望してきた。この要望を踏まえ、区は、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分する一方、内部努力のさらなる徹底や事務事業全般にわたる再点検・見直しを行っている。健全な財政にすべきとの決意のもと、要望した重点施策等を推進するための新規事業やレバレッジ効果が高い取り組みを組み入れた予算を高く評価する。

充実します。さらに観光振興では、平成26年に荒川区で開催する「奥の細道サミット」のイベントを実施します。「文化・環境」では、新たに2つのふれあい館を開設するとともに、家庭用蓄電システムの設定助成などにより地球温暖化・ヒートアイランド対策、低炭素型の地域づくりを進めます。さらに環境に関する経験・知識の豊富な人材を登録する「エコ人材バンク」を実施します。

以上、予算の主要施策は、いずれも区民の皆様に幸福を実感して頂くために必要な事項を予算化したものです。私は、区の施策は絵画の点描のようにあるべきと考えます。千を超える区の事務事業が一つひとつ丁寧に業務を遂行することにより、色は異なっていますが、全体を俯瞰すれば区民の笑顔と安全で温かい地域社会を描いている。そのような幸福実感都市の実現を目指し、邁進してまいります。

福祉関係では、地域包括支援センターの増設、介護予防・日常生活支援総合事業の実施と自立支援型サービスの提供、障がい者のグループホーム等の設置促進補助の実施や成年後見制度の利用促進策、35歳からの健診や糖尿病対策推進事業などを高く評価する。

教育関係では、学校図書館の環境整備や国語力向上に向けた予算措置が置かれ、学校パワーアップ事業の充実等、より一層のレベルアップが図られることを期待する。

子育て関係では、ヒブワクチン、おたふく風邪、水ぼうそうの予防接種補助の継続実施や放課後子どもプラン実施校を2校拡大するなどの取り組みを高く評価する。

これらの他にも、我が党議員が予算特別委員会で行った意見や提案を真摯に受け止め、区政に反映させるよう求める。新年度の予算執行に当たっては、区民の誰もが幸せを身近に感じられる「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、一層努力していただくことを強く要望し、賛成の討論とする。



# 賛成

限りある財源を重点的・効果的に配分した予算を評価、「区民のための政治」実現のため一層の努力を要望

公明党

平成25年度予算は、震災対策の充実や防災街づくりの推進、介護予防の強化など区民の安全安心の備えをしっかりと行うとともに、我が党が提出した、「あらかわ公明ビジョン100」と「予算に関する要望書」を踏まえ、限りある

実施や、地域包括支援センター増設などを高く評価する。子育て分野は、新たな放課後子どもプラン事業や保育定員の拡大と新たな家庭的保育事業などに期待する。障がい者分野は、特別支援学級の充実や親なき後支援の積極的な推進を高く評価する。教育分野は、児童生徒にタブレットパソコンを導入するなどICTの充実を期待する。産業経済分野は、起業・創業者の充実や商店街活性化の取り組み、若年層の就労支援策等を期待する。環境分野は、環境活動の活性化やエコ助成の充実により低

炭素型の地域づくりが進められるよう要望する。防災・住みよい街づくり分野は、永久水利の整備や福祉避難所の指定、備蓄資機材の充実など地域防災力の向上が図られている。最後に、予算特別委員会において我が党からの提案・要望については、今後の事務執行や予算編成に十分に反映させ、区民生活の向上に努力していただくことを要望し、賛成討論とする。

# 反対

くらし・福祉・防災最優先の予算に優先順位を見直すべき

共産党

社会保障費の削減や消費税増税計画など負担増により区民生活は破壊されていく中で、地方自治体はくらしを守る防波堤の役割を果たすことが強く求められている。新年度予算案では、中小企業融資枠の拡大、地域包括支援セン

行うことが求められる。第二に今年も認可保育園の不承諾者が出て、両親が常勤でも入園できない実態があり、認可保育園の増設を中心に待機児童解消の緊急対策を求める。第三に永久水利は都との役割分担やその必要性の検討も不十分である。一方、執行率の低い家具転倒防止補助事業の改善策もない。また、全小中学生にタブレットPCを貸与する事業は、十分な検討が必要であり、一体化が進められる学童クラブとにこそこすくーるは、事業目的に沿ってそれぞれ運営されるべきである。さ

らに、毎年の予算削減によって老朽化した公共施設の改修が後回しにならぬよう、改修は必要に応じて一気に進めるべきである。最後に放置自転車対策は、区が所有する施設に駐輪場を確保しない姿勢や新三河島駅の不十分な放置自転車対策は問題である。我が区議団が提出した修正案は、区の財政力から言っても十分実施できるものと述べ、原案の反対討論とする。

# 賛成

健全な経済指標の範囲内での財政運営を求め、積極的な施策展開を望む

民主・市民

来年度予算案は東日本大震災を踏まえ、隅田川からの永久水利、木密対策など防災に関する施策が盛り込まれた。災害に対しては、自分の命は自分で守る意識を醸成する施策を積極的に進めてほしい。まず、各施策の実施には健全な

財政運営が求められる。健全な経済指標の範囲内での積極的な施策展開を望む。子育て・教育分野は、私立幼稚園の誘致や保育園の増設、保育園での幼稚園と同様の健康診断の実施や学校給食のアレルギード断の施策を求める。福祉分野は、高齢

者の介護予防施策の強化を評価する。区全体の体制等では、各種審議会の女性比率の低さに対する努力を求め、行政評価は施策の展開や対策本部の実態等、常に事業・組織再構築を行うよう求める。環境清掃分野は、PPS拡大などエネルギー問題への積極的な対応と清掃工場での安全確保を求める。街づくり分野は、耐震性に問題のある建築物への対応等を求める。このほか、本会議や予算委員会

# 賛成

各分野において着実な施策展開を図り、多くのニーズを吸い上げた予算案を評価

日本創新党

各分野において着実な施策展開を図り、多くのニーズを吸い上げた予算案を評価する。予算執行では、日本創新党が問題提起した課題を正面から受け止めるよう強く求め、以下の点を述べる。福祉分野は、健康増進に反することには、強い規制や負担が行われるべきで、生活保護受給には必要な規制を厳しく行うよう求め

る。環境清掃費は、雨水利用貯水槽設置を促進し、ごみの有料化を進めるべきである。土木費は、自転車専用レーンの体系的な整備を強く求める。教育費は、日本の素晴らしい縦系を引き継ぎ、戦っても大事なものを守る観点を軸に据えて教えることを求める。議会費は、本会議質問時間の十分な確保などを求め、賛成討論とする。

# 反対

小1からの不要な英語教育や吉村昭文学館など不要不急の箱物に反対。母子避難所を作れ。

正論の会

一般会計予算に反対する。不燃化特区推進のため、町屋駅を中心とした街づくりのグラウンドデザインを作り、住民の合意形成を図れ。母子避難所設置を再三求めていくが、進んでいない。エレベーター閉じ込め対策も未定で、震災対策は後手に回っている。成田空港からの交通至便性を活用し、東南アジアの起業家を誘致

し、区内産業と結び付けてはどうか。小1からの英語教育は不要で、日本語教育こそ必要。小1からタブレットPC導入は時期尚早だ。荒川二丁目複合施設は図書館のみとし、吉村昭文学館他は事業を中止せよ。国民健康保険料未払い約20億円の常態化は異常だ。外国人学校保護者補助金は、北朝鮮の核実験を踏まえ朝鮮学校分は中止せよ。

# 反対

「全国先進」と称する目玉事業に反対。区民のフトコロは厳しい。地域経済改善に予算投入を

元気クラブ

隅田川の水を使う防災対策は委員会に何の報告もなく、唐突に予算発表された。区が単独で費用負担すべき事業が検討もなく反対だ。タブレットPCを学校教育の場で一律小学生に配布する必然性はない。基礎的な学習を省略する恐れもある。IT産業への市場提供。吉村昭先生の文学館は生誕地の日暮里が相応しい。荒川二丁目複

合施設には幼稚園設置を提案する。保育園不足で親たちは「幸福実感」どころではない。学童クラブのおやつ廃止は保護者に事前の相談もない。誠意ある対応を求める。日暮里サニーホール駐輪場設置、下請け労働者の区民が死亡した清掃工場事故と委託推進、図書ステーションの要件緩和、法外のお泊りデイサービス等の改善を求める。

# 賛成

永久水利事業は区がやるべき事業ではなく、防災区民組織とD級ポンプが機能する取り組みを求める

改革の会

平成25年度予算は概ね妥当に編成されている。しかし、事業執行に当たり区民目線から外れている部分は改善すべきである。大震災時、同時多発の火災に対応するのに消防ポンプ車や消防団のB級ポンプだけでは足りない。永久水利事業は既に消防ポンプ車が隅田川のテラスに直接降りられるため、区でやるべき事業ではない。むしろ防災区民組織とD級ポンプが機



# 北朝鮮の核実験に 対する抗議決議

2月12日、北朝鮮が3度目となる核実験を強行した。我が国並びに国際社会が、北朝鮮に対し再三にわたり強く自制を求めていたにも関わらず、実験が強行されたことは、我が国の安全のみならず、広く国際社会の平和と安定に対する重大な脅威であり、断じて容認できない。

今回の北朝鮮の挑発的行為は、先般1月22日に全会一致で採択された国際連合安全保障理事会決議第2087号をはじめとする一連の安保理決議に明確に違反するものであるとともに、日朝平壤宣言や平成17年9月の六者会合に関する共同声明にも違反するものである。

よって、荒川区議会は、この度の北朝鮮の地下核実験に厳重に抗議するとともに、すべての核開発を即時停止するよう強く求めるものである。同時に、国際社会が核兵器のない世界を目指すよう強く求めるものである。

政府においては、断固たる抗議の意思を表明するとともに、米国・韓国をはじめとする関係国と緊密

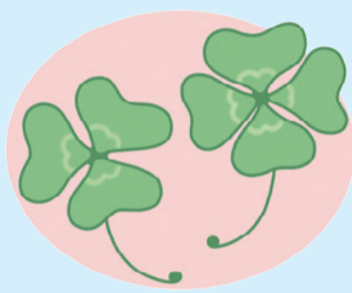
に連携し、かつ中国やロシアと意思疎通を図ることなどを通じて、国際世論を喚起し、安保理決議第2087号に基づく制裁措置が実効あらしめられるよう努めるとともに、今回のような事態を想定して安保理決議第2087号に記載された「重要な行動」が安全保障理事会において決議として具体化されるべく、外交努力を行うことを強く求める。

また、拉致問題に関し、北朝鮮が、平成20年に合意した調査のやり直しにいまだ着手していないなど、具体的行動による進展がないことなども勘案しつつ、政府は、我が国独自の対北朝鮮措置の徹底を図るとともに、追加的な措置についても検討すべきである。

平成25年2月27日  
荒川区議会

# 意見書提出

本定例会では1件を可決し、関係機関に提出しました。



# 竹内捷美議員逝去



荒川区議会議員竹内捷美氏(享年66歳)は、平成25年3月13日逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

氏は、平成11年に荒川区議会議員になられて以来、14年間にわたり区政に貢献されました。この間、

議長、常任委員会の正・副委員長、特別委員会の正・副委員長や監査委員などの要職を歴任され、荒川区の発展のため、献身的に尽力され、多大な功績を残されました。

区議会では、3月14日の本会議において、区議会の総意として志村博司議員より追悼の言葉並びに1分間の黙祷を捧げました。

# 議案の審議結果

平成 25 年 第 1 回定例会

○ 賛成 × 反対 ー 退席 欠 欠席  
太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は平成 25 年 2 月 14 日現在の会派人員)							結果
	自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創新党	あらかわ正論の会	
<b>議員提出議案 (8 件)</b>								
第 1 号 荒川区高齢者介護保険利用料助成条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第 2 号 荒川区高齢者介護保険料負担軽減助成条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
第 3 号 荒川区住宅リフォーム促進及び区内施工業者仕事づくり条例	×	×	○	×	○	×	○	否決
第 4 号 荒川区議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	欠	可決
第 5 号 荒川区議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	欠	可決
第 6 号 荒川区議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 7 号 北朝鮮の核実験に対する抗議決議について	○	○	○	○	ー	○	○	可決
第 8 号 中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
<b>区長提出議案 (38 件)</b>								
第 1 号 荒川区新型インフルエンザ等対策本部条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 2 号 荒川区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 3 号 荒川区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営、指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 4 号 障害者自立支援法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 5 号 荒川区特別区道における道路構造の技術的基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 6 号 荒川区特別区道における道路標識の寸法に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 7 号 荒川区特別区道における移動等円滑化の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 8 号 荒川区が管理する区立公園における移動等円滑化の基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 9 号 荒川区特別職議員報酬等及び給料審議会条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 10 号 荒川区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 11 号 公益的法人等への荒川区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 12 号 区議会、選挙管理委員会又は監査委員の調査のため出頭する者及び公聴会に参加する者の実費弁償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 13 号 一般財団法人荒川区勤労者福祉サービスセンターに対する助成等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
第 14 号 荒川区立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
<b>議員提出議案 (13 件)</b>								
第 15 号 荒川区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 16 号 荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 17 号 荒川区生業資金貸付条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 18 号 荒川区営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 19 号 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 20 号 荒川区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 21 号 荒川区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 22 号 荒川区立荒川自然公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 23 号 荒川区集合住宅の建築及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 24 号 平成 24 年度荒川区一般会計補正予算 (第 3 回)	○	○	○	○	×	○	×	可決
第 25 号 平成 24 年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 回)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 26 号 平成 25 年度荒川区一般会計予算	○	○	×	○	×	○	×	可決
第 27 号 平成 25 年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 28 号 平成 25 年度荒川区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 29 号 平成 25 年度荒川区介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 30 号 尾久八幡中学校旧校舎解体工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 31 号 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第 32 号 荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
同意第 1 号 荒川区副区長の選任同意について (佐藤安夫氏)	○	○	○	○	×	○	○	同意
同意第 2 号 荒川区教育委員会委員の任命同意について (高梨博和氏)	○	○	○	○	×	○	×	同意
同意第 3 号 荒川区教育委員会委員の任命同意について (小林敦子氏)	○	○	○	○	○	×	×	同意
同意第 4 号 荒川区教育委員会委員の任命同意について (坂田一郎氏)	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第 5 号 荒川区監査委員の選任同意について (中里稔氏)	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第 6 号 荒川区監査委員の選任同意について (若林清子議員)	○	○	×	×	○	×	○	同意

議員提出議案第 4、5 号：2 月 19 日議決  
議員提出議案第 6、7 号及び区長提出議案第 9、12 号：2 月 27 日議決  
上記以外の議案：3 月 14 日議決